

5)九州地区(九州7県)販売代理業者別総販売戸数ランク特性

・九州地区において、2022年(1~12月)に新規・繰越在庫含めた全マンションの販売戸数は7,442戸。その内、参入販売代理業者は、39社。総販売戸数、2,372戸(全体の31.9%)。

・業者別販売戸数(契約戸数、単独事業主で集計。※事業主が販売代理を兼務している場合は除き、共同販売の場合、按分が明確な場合はその比率で処理、それ以外の場合は、参加事業者数で等分にした)

ランキングでは、1位、福岡プロパティエージェント、227戸。前年比で減少したが、前年3位から順位を上げ、トップとなった。九州旅客鉄道の「MJRザ・ガーデン香椎」、日鉄興和不動産の「グランリビオ高見七条水辺の杜」「グランリビオ沢見ザ・レジデンス」を手掛け、水準の高い販売をおこなっている。

2位は、T・フィールド、215戸。前年比で減少したが、前年同様2位となった。数多くの物件を手掛けているが、九電不動産の「グランドーク藤崎宮」、ラ・アトレの「ラ・アトレレジデンス姪浜」などの物件が良く売れ、戸数増加につながったようだ。

3位は、住友不動産販売、209戸。前年比+7.1%と増加させ、前年7位から順位を上げた。例年高水準の販売をおこなっている。九州旅客鉄道の「MJR熊本駅南」、西日本鉄道の「ブラントン薬院」などの物件が良く売れ、戸数増加につながったようだ。

4位は、宝州興産、182戸。前年比で減少したが、前年6位から順位を上げた。系列会社の作州商事の全物件を手掛けている。

5位、三井不動産リアルティ九州、154戸。系列会社の三井不動産レジデンシャルや九州旅客鉄道での共同販売、照栄建設の物件を手掛けた。

順位	販売代理	年間販売戸数	順位	販売代理	年間販売戸数
1	福岡プロパティエージェント	227	24	プレサンス住販	26
2	T・フィールド	215	25	大英エステート	25
3	住友不動産販売	209	26	ユニサス	24
4	宝州興産	182	27	ニーズコーポレーション	20
5	三井不動産リアルティ九州	154	28	アメニティ辰巳	18
6	長谷エアベスト	136	28	ライフステージ	18
7	MBC 開発	135	30	九州・アジア・パートナーズ	15
8	プレジャーリンク	110	31	アーク不動産	12
9	なかやしきホーム	107	32	レッドファイブ不動産	11
10	オリエルホーム	101	33	大分第一不動産	9
11	バージョン es	91	34	ボクシーズアールイー	8
12	リヴスタイルホーム	72	35	ビーロッド	7
13	トラストエステート	56	36	京都建工	6
14	ステアーズ	52	37	GFC リアルエステート	2
15	グッドアローズ	44	37	ライフイズ	2
16	マンプロ	42	39	アレックス	1
17	ジェイ・エステート	41			
17	マンションスタイルクリエイト	41			
19	エストラスト不動産販売	40			
20	イーストホーム	30			
21	リーズン	29			
22	トライズ	27			
22	レッドファイブ不動産、トライズ	27		計 39 社	2372